



OSAKA-KANSAI/JAPAN EXPO2025

World Expo 2025 Candidate

### 2025 日本万国博覧会誘致に向けて

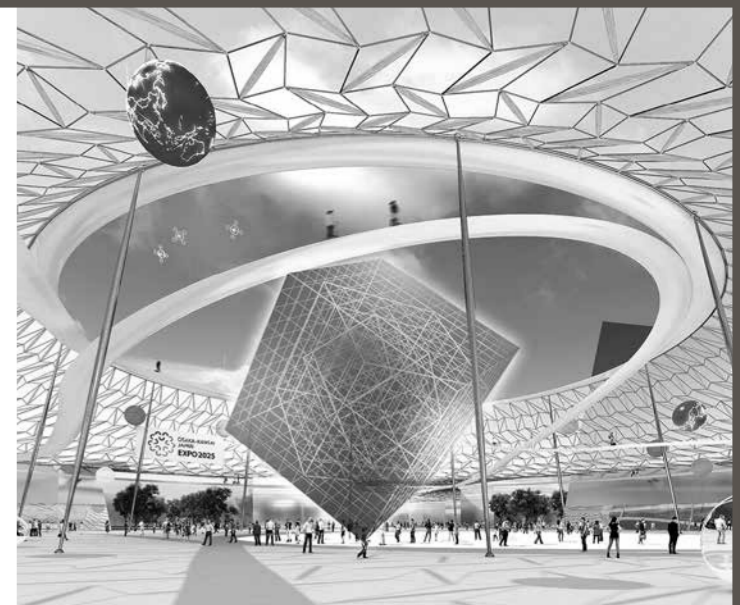
1970年に開催した大阪万博から半世紀。日本の魅力やポテンシャルを世界に発信するため、オールジャパン体制で、2025年国際博覧会の大阪・関西への誘致実現を目指し活動しています。18年11月の総会で決定します。

[個人会員(無料)を募集中。下記HPから登録できます。]

#### 概要

開催期間：2025年5月3日～11月3日(185日間)  
開催場所：大阪 夢洲(ゆめしま)  
テーマ：いのち輝く未来社会のデザイン  
サブテーマ：多様で心身ともに健康な生き方。持続可能な社会・経済システム  
入場者想定規模：約 2,800 万人

2025 日本万国博覧会誘致委員会 www.expo2025-osaka-japan.jp



会場イメージ図 出典：ビッド・ドシエ(立候補申請文書)(経済産業省作成)

## SDGsを達成した社会を世界に発信



榊原定征氏  
日本経済団体連合会会長・  
2025 日本万国博覧会誘致委員会会長

健康診断や、その結果をビッグデータを駆使して分析し予防につなげる取り組みなどは新たな産業のきっかけにもなるでしょうし、万博が良いアピールの場になると思います。

榊原 そうですね。SDGs 達成への取り組みは、産業界としてもビジネスのフロンティアになると考えており、現在、官

民で進めている国家的プロジェクト Society 5.0 の表現が、その推進力となります。Society 5.0 とは、ビッグデータや AI、ロボットなどの先端技術を活用して人々が活力に満ちた質の高い生活を送れる経済社会のことであり、万博のテーマと同じ考え方をしています。我々は Society

5.0 を通じて SDGs 達成のフロントランナーになりたいと考えています。今回の万博のコンセプトは「People's Living Lab」です。来場者も参加する形で、様々な技術や知恵を駆使した実験的な試みを行い、最先端の取り組みを世界に広げていくことを目指しています。特に開催地の大阪・関西はライフサイエンスの集積地です。高齢化に対応した未来社会の例を提案できたらと考えています。

榊原 万博で実験というのは面白いですね。昔と比べて今は娯楽があふれているので、受け

身の楽しみだけではない参加型のイベントは人気を呼びそうですし、時代のニーズにも合っているとと思います。

また日本が誇る iPS 細胞による再生医療や老化学などの研究成果などはきっと高い関心を呼ぶでしょう。今回はフランス、アゼルバイジャン、ロシアと開催地を競合していると聞いています。状況はいかがですか。

榊原 ありがとうございます。世界に先駆け長寿国となつた日本が、いかに超高齢社会に対応していくのか、世界が注目していますので、万博の開催が日本の対応策を世界に示す一助になれば幸いです。

横倉 万博を契機として、日本が一丸となり、健康長寿・生涯現役社会の構築をより推進していくことができればいいですね。一緒にがんばっていきましょう。

「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、日本から世界に多様で心身ともに健康な生き方を発信することを目的として、2025年に日本で国際博覧会(万博)を開催すべく、その誘致活動が本格化しています。諸外国に先駆けて超高齢社会を迎えた日本で、一人ひとりが輝く生涯現役社会の実現を目指し、地域に密着した医療を推進する日本医師会。万博の理念に賛同した日本医師会の横倉会長が、万博誘致委員会の榊原会長と万博を契機とした、未来社会について語り合いました。

# いのち輝く未来社会のデザインを日本開催の万博から

## 生涯現役社会の構築に取り組む



横倉義武氏  
世界医師会会長・  
日本医師会会長

### 地域包括ケアを組織を挙げ推進

横倉 我が国では、平均寿命が男女ともに80歳を超え、超高齢社会となっています。

榊原 「日本健康会議」には経済界も全面的に協力をして

が、大きな課題となっています。そこで、2015年7月には経済界や医療界、自治体が一体となり、国民一人ひとりの健康寿命の延伸と適正な医療について議論することを目的として「日本健康会議」が発足しました。

横倉 医療と介護の問題では、団塊世代が75歳以上を迎える25年に向け、地域包括ケアシステムの推進も重要です。

榊原 「いのち輝く未来社会のデザイン」は、健康や平等、環境や資源など17の分野で設定した持続可能な開発目標(SDGs)が達成された未来社会の姿であると思っています。

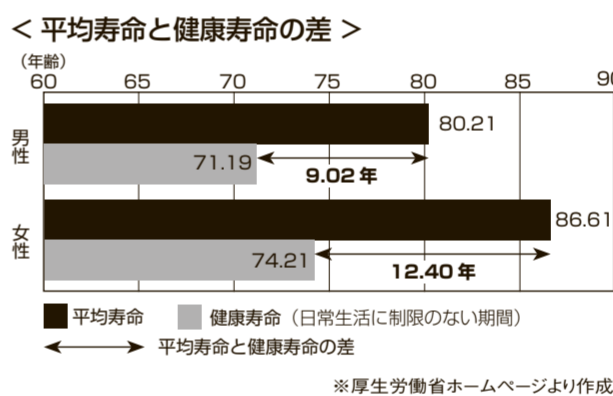
横倉 SDGs を達成することができれば、年を取っても健康的で生

生涯現役社会の構築のためには、予防の観点から企業が「健康経営」に取り組むことが必要と感ずります。健康経営とは「従業員の健康の維持・増進への取り組みが、従業員の意欲や生産性を向上させ、結果的に企業の業績向上等につながる」という考

え方であり、経営戦略そのものことです。将来的な医療費や介護費の増加の抑制にも寄与するため、社会保障制度の持続性確保も期待でき、経営者自身が健康経営のリーダーシップをとることを推奨しています。

榊原 日本は25年の万博誘致を目指してあります。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」。これは国連が30年に向け、健康や平等、環境や資源など17の分野で設定した持続可能な開発目標(SDGs)が達成された未来社会の姿であると思っています。

横倉 「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です



※厚生労働省ホームページより作成

### < 地域包括ケアシステムのイメージ >



※「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です